

さぼう早川

平成31(2019)年

3月発行

(vol. 104)

発行・連絡先／国土交通省関東地方整備局 富士川砂防事務所 早川出張所

〒409-2713 南巨摩郡早川町保1227 TEL0556-45-2319

(ホームページ) <http://www.ktr.mlit.go.jp/fujikawa/> (ツイッター) <https://twitter.com/fujikawasabo>

平成三十年度 富士川砂防事務所工事安全施工研究 発表会を開催しました。

今年で二十回目を迎える富士川砂防事務所工事安全施工研究発表会が平成三十一年一月十八日に甲斐市敷島総合文化会館において開催されました。

当研究発表会は平成八年十二月六日に長野県北安曇郡小谷村で発生した蒲原沢土石流災害により工事関係者十四名死亡、九名負傷という大きな被害を受けたことを契機に、安全に対する法規制等が改正されるなど土石流の発生を考慮した安全対策が求められるようになりました。現場技術者が自然条件の特に厳しい砂防工事の現場で培った経験や安全などの情報を発表し合い、それを互いに共有、意見交換することによって、砂防の現場で働く人達の安全施工技術の向上を図るとともに、先の災害の教訓を風化させないために、平成十一年から毎年開催しています。



富士川砂防事務所工事安全施工研究
発表会の様子

当日は、約九十名の関係者が集まるなか、富士川砂防事務所代表七工事の「安全施工」に関する研究発表が行われました。

早川出張所からは、H29内河内第五砂防堰堤工事(岩田地崎建設(株)施工)、H29春木川山腹工工事(株)早野組施工)、H28広河内第二橋梁工工事(日本車輛製造(株)施工)の三工事について発表がありました。

研究発表の後、優れた「安全施工に関する発表」に対する表彰が行われ、早川出張所管内のH29内河内第五砂防堰堤工事(岩田地崎建設(株)施工)が最優秀賞、白州出張所管内のH29小武川崩壊地対策工事(湯澤工業(株)施工)が優秀賞を受賞しました。



蒲原沢災害のきっかけとなった平成7年7月姫川災害
土砂流出により河床が10m上昇し各所で被害が出た

砂防工事のお知らせ

〈現在実施している工事〉

※平成31年3月1日現在

工 事 件 名	工 期	施 工 業 者 名
H29春木川山腹工工事	H29.9.8 ~ H31.3.31	(株)早野組
H29内河内第五砂防堰堤工事	H29.9.22 ~ H31.8.7	岩田地崎建設(株)
H29塩島沢砂防堰堤工事用道路工事	H30.3.23 ~ H31.3.20	湯澤工業(株)
H30夜子沢砂防堰堤改築工事	H30.6.6 ~ H31.3.20	植野興業(株)
H30荒川工事用道路工事	H30.7.6 ~ H31.9.30	湯澤工業(株)
H30保川工事用道路工事	H30.7.24 ~ H31.3.25	砂田建設工業(株)
H30白河内工事用道路法面对策工事	H30.7.24 ~ H31.12.25	ライト工業(株)
H30早川出張所砂防整備工事	H30.9.27 ~ H31.3.31	早邦建設(株)
H30白河内工事用道路工事	H31.2.14 ~ H31.8.30	湯澤工業(株)

早川流域は険しい山腹を川や沢が流れ下るために水の勢いが強く、かつ、大断層「糸魚川―静岡構造線」が縦断しているため、非常に地質がもろく、土砂災害が起こりやすい状況にあります。

早川出張所では、土砂災害から地域の暮らしを守るため、砂防堰堤や山腹工、床固などの砂防設備を整備する工事を行っています。

三月一日現在、九件の工事を実施しているところです。引き続き、早川町の皆様からご理解とご協力をいただきながら、安心して住める町づくりを目指して、砂防設備の整備を進めていきます。

編集後記

今年度は大雨や台風の影響により、黒桂河内川で発生した土砂崩落による河道閉塞や涸沢で発生した土石流など、早川町内で複数の土砂災害が発生しました。

近年は、予測困難な「ゲリラ豪雨」が増加する傾向にあります。急峻な地形と脆弱な地質を有する早川町においては、常に土砂災害が発生するおそれがあることから、防災機関として今後も気持ちを引き締めて、業務を遂行していきたいと思っております。

今年度の早川出張所における主な出来事

4月	新たなスタッフを迎え、新年度がスタート
5月	3日 南アルプス早川山菜まつりに参加 ・砂防ブース設置(パネル展示、土石流実験模型の実演など)
6月	土砂災害防止月間(1日~30日) 29日 砂防現場体験学習会(早川南小)を春木川で実施
7月	4日 河川一斉清掃(早川町主催) 5日 河川一斉清掃(山梨県主催) →どちらも大雨により中止 11日 砂防現場体験学習会(早川北小)が残念ながら、大雨の影響により中止 18日~25日 広島県内で発生した土砂災害による被災状況を調査するため、早川出張所職員1名をTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)として、現地に派遣
8月	27日 大学生を対象とした研修(キャンプ砂防)を早川町内で実施 ・春木川の砂防工事現場を見学、自然環境に関する講義(講師:辻町長)
10月	16日 早川町民会館において大規模土砂災害合同防災訓練を実施 21日 黒桂河内川で土砂崩落による河道閉塞(天然ダム)が発生 同日付で富士川砂防事務所は災害体制に入り、現地調査を開始
11月	黒桂河内川の河道閉塞箇所の付近に監視カメラ、土石流警報装置、水位計を設置し、土砂崩落及び河道閉塞状況の監視体制を整備 (監視カメラによる画像及び水位情報を富士川砂防事務所ホームページにて公開) 28日 黒桂河内川の河道閉塞箇所の下流に応急対策として、コンクリートブロック堰堤を設置
1月	18日 甲斐市敷島総合文化会館において富士川砂防工事安全施工研究発表会が行われ、内河内第五砂防堰堤の施工を行っている岩田地崎建設(株)が最優秀賞を受賞

今年度もご協力ありがとうございました。今後も引き続きよろしくお願い致します。